

五感で学ぶ体験！



子どもたちとの交流！／エルサルバドルにて
写真提供：JICA エルサルバドル事務所

JICA中部 平成27年度教師海外研修

受講者募集中
5/12(火)
申込書必着

7/20～8/1 (13日間)



エルサルバドル

7/26～8/7 (13日間)



ガーナ



主催：独立行政法人国際協力機構 中部国際センター (JICA中部)

後援：外務省、文部科学省、

後援(申請中)：愛知県教育委員会、三重県教育委員会、岐阜県教育委員会、静岡県教育委員会、名古屋市教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会

研修の概要

(1) 教師海外研修の目的

開発教育・国際理解教育に熱心に取り組んでいる教師の方を対象に、実際に開発途上国を訪問することで、開発途上国が置かれている現状や国際協力の現場、開発途上国と日本との関係に対する理解を深め、その成果を、学校現場での授業実践等を通じて、次代を担う児童・生徒の教育に役立ててもらうことを目的としています。研修参加後は、JICA 中部と協力し、教育現場で開発教育・国際理解教育を推進する中核となるような人材となってもらうことを期待します。なお、本研修は、JICA 中部が行う「開発教育指導者研修（実践編）」と組み合わせて実施されるものです。

(2) 教師海外研修(エルサルバドル・ガーナ)のテーマ : 「持続可能な開発」

グローバル化により人、物、資金、情報などの移動が容易になり、経済活動や生活が効率化されるなど多くの恩恵が得られます。その反面、厳しい国際競争にさらされることで、社会・経済基盤の弱い国には一層格差が広がる懸念があります。グローバル化は、世界の中で生きる日本にとって大きな恩恵をもたらしています。しかし、日本は、資源・エネルギー、食料を海外に依存しています。グローバル化の進展に伴い、世界の相互依存関係が深まる中、世界の平和と繁栄が不可欠です。世界の国が協力してグローバル化の負の部分の抑制しながら持続的な成長を目指すことが必要です。すべての人々が恩恵を受けられる開発とは何か、開発途上国における持続可能な開発とは何かを考えます。

(3) 研修の流れ・日程および内容 (諸事情により、変更になる場合があります。予めご了承ください。)

回	日時	場所	内容(予定)	
指導者研修 第1回	6月13日(土) 13:00~17:00 ~14日(日) 10:00~15:00	JICA中部	・「開発教育・国際理解教育がめざすもの」をテーマに参加型学習を行います。	
エルサルバドル ガーナ 選考後説明会	6月14日(日) 15:30~17:30	JICA中部	・出発準備や研修について説明し、質問にお答えします。 ・参加者同士が知り合う機会とします。	
エルサルバドル ガーナ 事前研修	6月27日(土) 13:00~17:00 ~28日(日) 10:00~15:00	JICA中部	・海外行程の説明、訪問先の情報提供、渡航手続きなどを行います。 ・チームとしての現地研修の目標の共有、情報収集の方針、現地での交流のための準備、役割分担について参加型で確認します。	
指導者研修 第2回	7月11日(土) 13:00~17:00 ~12日(日) 10:00~15:00	JICA中部	・「開発教育・国際理解教育にできること」をテーマに参加型学習を行います。	
エルサルバドル	出発前説明会	7月19日(日) 13:00~18:00	JICA中部	・渡航の最終確認、チーム内の各種調整を行います。 ・最後に立食による結団式を予定しています。
	現地研修	7月20日(月)~8月1日(土) (13日間/現地10日間)	サンサルバドル ほか	・「持続可能な開発」をテーマに、JICA等のプロジェクト先、都市や農村を訪れます。 ・気づきを共有し、お互いから学びあう時間を多く設けます。
ガーナ	出発前説明会	7月25日(土) 13:00~18:00	JICA中部	・渡航の最終確認、チーム内の各種調整を行います。 ・最後に立食による結団式を予定しています。
	現地研修	7月26日(日)~8月7日(金) (13日間/現地10日間)	アクラ ほか	・「持続可能な開発」をテーマに、JICA等のプロジェクト先、都市や農村を訪れます。 ・気づきを共有し、お互いから学びあう時間を多く設けます。
指導者研修 第3回	8月22日(土) 13:00~17:00 ~23日(日) 10:00~17:00	JICA中部	・「開発教育・国際理解教育のすすめかた」をテーマに参加型学習を行います。	
エルサルバドル ガーナ 事後研修	9月5日(土) 13:00~17:00 ~6日(日) 10:00~15:00	JICA中部	・海外での気づきや資料を教材化し、授業で実践するためのプログラムについて考え合います。	
9月~1月:各自、学校の授業などで実践!				
指導者研修 第4回	2月6日(土) 10:00~18:00	JICA中部	・「開発教育・国際理解教育をつなげよう」をテーマに実践の共有およびフォーラムの準備を行います。	
実践報告 フォーラム	2月7日(日) 10:00~16:30	JICA中部	・指導者研修および教師海外研修受講者による、一般向けの実践報告等を行います。	

※ 過去の「開発教育指導者研修（実践編）」および「教師海外研修」の詳しくはJICA 中部ウェブサイト [JICA中部 開発教育](http://www.jica.go.jp/chubu/enterprise/kaihatsu/) [検索](#) をご覧ください。⇒ <http://www.jica.go.jp/chubu/enterprise/kaihatsu/> 「JICA中部 開発教育」でウェブサイト検索 

募集要項

(1) 応募資格 次の要件をすべて満たす方に応募資格があります。

- ① 応募および研修参加時点で愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の国公立、私立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校の教員または教育委員会の指導主事等であること。
- ② 所属する学校の校長もしくは教頭（教育委員会であれば所属長）の推薦があること。
- ③ 原則、JICA が実施している教師海外研修、ボランティア、専門家、国際協力レポーター（ODA 民間モニター）等 JICA から海外に派遣された経験がないこと。

(2) 参加条件 次の条件を満たす方に参加資格があります。

- ① 教師海外研修の趣旨・目的を十分理解し、同研修の実施および以後 JICA が実施する開発教育支援事業に協力可能であること。
- ② 授業やクラブ活動で開発教育を実践していること、また今後実践する予定にあること。
- ③ 国内で実施される研修・説明会および海外研修の全行程に参加可能であること。
- ④ 派遣国の事情（道路状況や衛生環境等）を勘案した上で、全研修行程に参加するに耐えうる健康状態であること。
- ⑤ 帰国後、所定の期日内に海外研修報告書を提出すること、また本研修の定めた期間内に所属校において授業実践を行い当該授業の実践報告書を提出すること、且つこれら提出物を報告書冊子や JICA ウェブサイトなどで一般公開されることに同意すること。
- ⑥ 本研修の事前および事後連絡における効率化のため、パソコンメールアドレスでの連絡が可能なこと。
- ⑦ 参加者メーリングリストでの情報共有に賛同いただけること。
- ⑧ ガーナ研修の受講者は、出発までに黄熱病ワクチンを接種可能であること。

(3) 参加人数 エルサルバドルとガーナ合わせて 20 人程度 ※応募書類および面接に基づき選考を行います。

(4) 応募方法・応募締切・選考通知

必要事項をすべて記入した所定の事項を記入した所定の申込書と、別途設問①～④の回答を A4 版 2 ページ以内にまとめた文書を同封のうえ、応募先（事務局：NIED・国際理解教育センター）に、郵送または持参で提出してください（JICA では受け付けを行いません）。応募締切は、5月12日（火）必着です。書類審査および面接審査を行い、最終選考を経て6月上旬までに選考結果を文書にて通知します。

(5) 面接審査

- ① 応募者全員に対し、右表のとおり面接審査を実施します。第1および第2希望の審査会場と日程を選び、申込書に選択番号を記入してください（申込書には必ず、第1および第2希望の2つの選択番号を記入してください）。

選択番号	審査会場	日程	時間帯
1	愛知県(名古屋市)	5月16日(土)	10:00-19:00
2	三重県(津市)	5月17日(日)	10:00-17:00
3	愛知県(名古屋市)	5月20日(水)	17:00-21:00
4	静岡県(浜松市)	5月22日(金)	17:30-21:00
5	静岡県(静岡市)	5月23日(土)	10:00-17:00
6	岐阜県(岐阜市)	5月24日(日)	10:00-17:00

- ② 面接会場について、いずれの会場にて（最寄の会場以外でも）面接審査を受けることができます。
- ③ 面接会場および日時について、JICA 中部が決定いたします（面接時間は一人当たり 20 分程度を予定）。
- ④ 面接会場および時間の詳細について、5月14日（木）までに、事務局より Eメールまたは電話にて通知しますので、申込書に記載のある Eメールおよび電話での受信確認をしてください。

(6) その他注意事項

- ① 年休・研修（職専免）等、研修中の扱いは所属先の判断によりますので、ご自身でご確認ください。
- ② 本研修では、JICA における労災保険等の適用はありません。所属先の業務出張扱いで参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の公務上災害に対する補償措置を行ってください。
- ③ JICA は出張命令依頼書等の発出は行いません。
- ④ 現地の治安状況等により、現地研修の期間を変更したり、中止となることがあります。予めご了承ください。
- ⑤ 研修の対象者として決定された場合においても、他の参加者に迷惑をかける方、決められた活動（研修・フォーラムへの参加、報告書提出など）に参加する意思がないと判断される方については、国内研修中、海外研修中を

問わず、研修対象者としての資格を失います。研修対象者として資格を失った場合、海外研修中においては、速やかに日本に帰国させ、帰国に係る旅費、滞在費、キャンセル料など全額、当該者本人が負担することになります。

- ⑥ 教師海外研修の選考にもれた場合でも、開発教育指導者研修（実践編）のみの参加は可能です。ご希望される方は別途「開発教育指導者研修（実践編）申込書」にてご応募ください。
- ⑦ 面接にかかる旅費および申込書の送料は自己負担となります。またご提出いただいた申込書（写真を含む）は返却しません。
- ⑧ 申込書に虚偽の記載内容が含まれている場合は、選考後でも参加資格が取り消しになることがあります。
- ⑨ JICA および事務局からの申込書受取の連絡はありません。配達記録等の利用などで各自配達済みの確認をしてください。

(7) 参加費用 参加者の個人負担とJICAの負担は下表のとおりです。

区分	個人負担経費	JICA 負担経費
国内での研修 や準備活動	<ul style="list-style-type: none"> ・面接にかかる交通費 ・食費、結団式の立食飲食費 ・パスポート取得にかかる費用 ・予防接種料（必要に応じて） ・その他個人的性格の費用 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修にかかる宿泊費（JICA 中部宿泊予定） ・研修にかかる交通費（すべての研修・説明会） 〔自宅最寄り駅・バス停から会場最寄り駅までの〕 JICA 規定で算出した往復交通費 ・空港までの交通費 ・空港使用税、査証取得料
海外研修	<ul style="list-style-type: none"> ・現地での食費（食費・宿泊費で10万円程度） ・現地での宿泊費※ ・追加保険の加入費用 ・その他個人的性格の費用 	<ul style="list-style-type: none"> ・往復渡航費 ・海外旅行保険費（JICA 規定分） ・現地視察に必要な費用（車両僱上、通訳、入場料） ・海外での空港使用税・出国税

※：現地での宿泊施設については安全面等を考慮しJICAで手配決定することを予めご了承ください。

(8) 報告書の提出（必須） 本研修では、次の報告書を提出していただきます。

- ① 海外研修報告書 提出日：平成27年8月31日(月) 必着
- ② 実践報告書 提出日：平成28年1月31日(日) 必着

応募・問合せ先

申込書は必ず事務局（下記住所）へお送りください。

[事務局(業務委託先)]

★特定非営利活動法人 ^{ニード} N I E D ・国際理解教育センター JICA 研修係（担当：川合）
〒464-0032 愛知県名古屋市千種区猫洞通5-21-2 ライフピア本山3階
E-mail：nied@love-hug.net（問い合わせはEメールをお願いします）
TEL：070-5333-5566 FAX：052-781-5779

[開発教育・国際理解教育支援関連 問合せ先]

★ 愛知県の方

JICA 愛知県デスク：近藤 保子 TEL：052-961-7904
E-mail：jicadpd-desk-aichiken@jica.go.jp

★ 名古屋市の方

JICA 名古屋市デスク：谷村 祐樹 TEL：052-581-5691
E-mail：jicadpd-desk-nagoyashi@jica.go.jp

★ 岐阜県の方

JICA 岐阜県デスク：青木 道裕 TEL：058-263-8069
E-mail：jicadpd-desk-gifuken@jica.go.jp

★ 三重県の方

JICA 三重県デスク：南出 幸子 TEL：059-223-8003
E-mail：jicadpd-desk-mieken@jica.go.jp

★ 静岡県（東部・中部）の方

JICA 静岡県デスク：武馬 千恵 TEL：054-202-0931
E-mail：jicadpd-desk-shizuokaken@jica.go.jp

★ 静岡県（西部）の方

JICA 浜松市デスク：吉田 裕 TEL：053-458-2118
E-mail：jicadpd-desk-hamamatsu@jica.go.jp

★ 総合案内

独立行政法人国際協力機構 中部国際センター（JICA 中部）
市民参加協力課 開発教育支援事業（研修）担当：古藪 真紀子
TEL：052-533-0120（課直通） FAX：052-564-3751
E-mail：Koyabu-Makiko@jica.go.jp

平成27年度 教師海外研修 申込書

注：選択式の欄は、該当する選択肢の□を■に塗りつぶしてください。



ふりがな 氏名 (ローマ字)	()		性別	生年月日		年齢
	※パスポートの記載とおり記入ください。			19	年 月 日	歳 (平成27年5月12日現在)
自宅住所	〒 県					
電話番号 (固定)	- -		電話番号 (携帯)	- -		
Eメール アドレス	@				<input type="checkbox"/> 個人アドレス ←どちらかに <input type="checkbox"/> 所属先(共有)アドレス チェック	
渡航時の 緊急連絡先	名前		続柄		電話番号	- -
ふりがな 所属学校等名				担当 教科		担当 学年
学校等住所 (電話番号)	〒 県			現在の 担任学級	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 第 学年	教員 経験 年数
	(- -)			職名	<input type="checkbox"/> 教諭 <input type="checkbox"/> 講師 <input type="checkbox"/> 管理職 <input type="checkbox"/> その他()	
海外研修国	第一希望 (国名を記入)		第二希望 (国名を記入)			
面接審査 会場・日程 (必ず第2希望まで記入)	第一希望 (選択番号と会場名を記入)		第二希望 (選択番号と会場名を記入)			
研修・説明会等 への参加確認	全ての研修に参加いただくことが原則必須となっております。 (募集要項の研修日程をご参照ください) ※やむを得ない事情で 参加できない場合は、参加できない日と理由をお書きください。					
JICA事業への 参加・利用状況	<input type="checkbox"/> JICA国際協力出前講座 <input type="checkbox"/> JICA中部センター訪問 <input type="checkbox"/> 研修員学校派遣 <input type="checkbox"/> 中学生・高校生エッセイコンテスト <input type="checkbox"/> 開発教育指導者研修(上級編・実践編) <input type="checkbox"/> 同(初・中級編) <input type="checkbox"/> 実践報告フォーラム <input type="checkbox"/> その他()					
英語 外国語 の会話	英語	<input type="checkbox"/> 会話が堪能 <input type="checkbox"/> 意思疎通が可能 <input type="checkbox"/> 簡単な日常会話 <input type="checkbox"/> できない	語	<input type="checkbox"/> 会話が堪能 <input type="checkbox"/> 意思疎通が可能 <input type="checkbox"/> 簡単な日常会話 <input type="checkbox"/> できない	パスポートの有無 <input type="checkbox"/> 有 → 残存期間 20 年 月まで <input type="checkbox"/> 無	
既往症	<input type="checkbox"/> ある → 具体的にご記入ください <input type="checkbox"/> ない			海外渡航の経験 <input type="checkbox"/> ある → 主な経験を記入ください(開発途上国を優先記入) <input type="checkbox"/> ない		
JICA事業での 海外派遣経験	<input type="checkbox"/> ある → <input type="checkbox"/> 教師海外研修 <input type="checkbox"/> JICAボランティア <input type="checkbox"/> 専門家 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 国際協力レポーターまたはODA民間モニター <input type="checkbox"/> その他()			年 国名 年 国名 年 国名		
研修の概要、 募集要項 記載事項等の 承諾・押印	わたしは、研修の概要、募集要項の記載事項、申込書の注意事項をすべて承諾し、 この研修への参加を申し込みます。 平成 年 月 日 氏名				写真 4×3cm または 4.5×3.5cm 裏面に氏名を記入	

※【個人情報の取り扱いについて】…個人情報の管理には細心の注意を払い、本研修の実施にかかる諸手続、研修後のモニタリングのために利用し、これらの目的以外には使用しません。これら情報は、本事業の業務委託先に提供いたしますので、予めご了承ください。

「大変だったけど参加して本当に良かった！」

JICA中部 教師海外研修

3つのウリ!

ウリ1

国際協力などの現場に訪問し、 人々との交流や意見交換ができます!

- ★ 国際協力の現場に入り、持続可能な開発のあり方を学べます。
- ★ 都市や農村を訪れ、人々と交流し、生活や文化に触れることができます。
- ★ 観光では見られないエルサルバドルやガーナの訪問先を用意しています。



昨年度受講者の声

- いろいろな訪問先でお話を聞き、取り組みを見せていただく中で、世界は繋がっていて、私達はこの地球を共有しているのだと感じた。
- 学校訪問を通して、ガーナの子供たちや先生と出会い、改めて教育が未来を築く希望であることや、教師という仕事の可能性や責任を感じた。

ウリ2

生きた教材を、チームで計画的に 収集し、授業に生かす方法を学べます!

- ★ チームで教材収集計画を立て、生きた教材を収集することができます。
- ★ 研修受講者全員が海外で撮影した写真・ビデオを提供します。(実費負担)
- ★ 教材を使った授業を行うための研修を行い、学校での実践活動を支援します。



昨年度受講者の声

- 事前にテーマを絞ったことで、どの視点で何を見ればよいか、視点がぶれなかった。
- 研修で得た情報をみんなで共有し、実践プログラム作ることを通して、実践のイメージができた。
- 自分にもできると自信を持つことができた。

ウリ3

研修の学びを生かした授業実践は、 子どものより良い変化が期待できます!

- ★ 開発教育指導者研修（実践編）を含め研修はすべて参加型で行われます。
- ★ 子どもたちの学ぶ意欲や課題に向き合う力を養う方法を学べます。
- ★ 研修受講者どうしの共に学びあう仲間づくりを支援します。



子どものより良い変化

- 学ぶことを楽しむようになり、主体的または継続的な学びに取り組む意欲が育った。
- 開発途上国や国際協力に関する話題に関心を持つようになった。
- 自分と他者・地域・世界のつながりを意識するようになった。

五感で学ぶ体験！



子どもたちとの交流！／ガーナにて
写真提供：平成 26 年度教師海外研修参加者

JICA 中部 平成 27 年度教師海外研修

受講者募集中
5/12(火)
申込書必着

7/26~8/7 (13 日間)  **ガーナ**

7/20~8/1 (13 日間)  **エルサルバドル**



主催：独立行政法人国際協力機構 中部国際センター（JICA 中部）

後援：外務省、文部科学省、

後援（申請中）：愛知県教育委員会、三重県教育委員会、岐阜県教育委員会、静岡県教育委員会、
名古屋市教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会